

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

7/1/03
#2
11002 U.S. PRO
10/073989
02/14/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2001年 6月 11日

出願番号

Application Number:

特願2001-175020

出願人

Applicant(s):

株式会社日立製作所

U.S. Appln. Filed 2-14-02

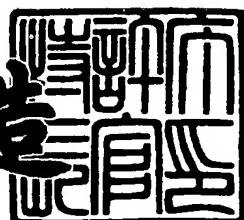
Inventor: T. Hasegawa
mattingly stanger malur

Docket NIT-322

2001年 11月 26日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3103584

【書類名】 特許願

【整理番号】 NT01P0553

【提出日】 平成13年 6月11日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地 株式会社日立製作所 中央研究所内

【氏名】 長谷川 隆

【特許出願人】

【識別番号】 000005108

【氏名又は名称】 株式会社日立製作所

【代理人】

【識別番号】 100068504

【弁理士】

【氏名又は名称】 小川 勝男

【電話番号】 03-3661-0071

【選任した代理人】

【識別番号】 100086656

【弁理士】

【氏名又は名称】 田中 恭助

【電話番号】 03-3661-0071

【選任した代理人】

【識別番号】 100094352

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐々木 孝

【電話番号】 03-3661-0071

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 081423

特2001-175020

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 アトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法並びにそのサービスに用いる受信機及びアトラクションシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アトラクションを利用中の顧客が関わる会場画像を撮影し、撮影した該会場画像を受信機において取り込み、該受信機を使って視聴する上記アトラクションに関係するコンテンツの中に該会場画像を挿入することを特徴とするアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法。

【請求項 2】

アトラクションを利用中の顧客が関わる会場画像を撮影し、撮影した会場画像を携帯可能な記録媒体に記録し、該記録媒体に記録された該会場画像を読み取ることによって該会場画像を受信機において取り込み、該受信機を使って視聴する上記アトラクションに関係するコンテンツの中に該会場画像を挿入することを特徴とするアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法。

【請求項 3】

アトラクションを利用中の顧客が関わる会場画像を撮影する段階と、撮影した該会場画像を配信局に送信する段階と、受信した該会場画像と上記アトラクションに関係するコンテンツを該配信局から配信する段階と、配信された該会場画像と該コンテンツを受信機において受信する段階と、該受信機を使って視聴する該コンテンツの中に受信した該会場画像を挿入する段階とからなり、該会場画像は、該受信機の有する顧客 I D (identifier) と一致する顧客 I D を備えていることを特徴とするアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法。

【請求項 4】

アトラクションを利用中の顧客が関わる会場画像を撮影する段階と、撮影した会場画像を配信局に送信する段階と、受信した会場画像を該配信局から配信する段階と、配信された該会場画像を受信機において受信して出力する段階とからなり、該会場画像は、該受信機の有する顧客 I D と一致する顧客 I D (identifier) を備えていることを特徴とするアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービ

ス方法。

【請求項 5】

携帯可能な記録媒体に顧客のアトラクション利用履歴を記録し、受信機において該記録媒体に記録された該アトラクション利用履歴を読み取り、該受信機を使って視聴する上記アトラクションに関するコンテンツを視聴するときに、該アトラクション利用履歴に応じた特典サービスを上記顧客に提供することを特徴とするアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法。

【請求項 6】

アトラクションを利用中の顧客が関わる会場画像が記録された記録媒体から該会場画像を読み取る情報読取装置と、配信された、上記アトラクションに関するコンテンツを受信する受信回路と、受信した該コンテンツの映像中に該会場画像を挿入する手段と、該会場画像の挿入された該コンテンツを出力する映像出力装置とを有することを特徴とする受信機。

【請求項 7】

配信された、アトラクションを利用中の顧客が関わる会場画像と該アトラクションに関するコンテンツを受信する受信回路と、受信した該会場画像が備える顧客ID (identifier) と該受信機の有する顧客IDとの一致を照合する手段と、該受信機の有する顧客IDと一致する受信した該コンテンツの中に該会場画像を挿入する手段と、該会場画像を挿入した該コンテンツを出力する映像出力装置とを有することを特徴とする受信機。

【請求項 8】

配信された、アトラクションを利用中の顧客が関わる会場画像を受信する受信回路と、受信した該会場画像が備える顧客ID (identifier) と該受信機の有する顧客IDとの一致を照合する手段と、受信した該会場画像を出力する映像出力装置とを有することを特徴とする受信機。

【請求項 9】

アトラクションを実施するアトラクションシステムであって、該アトラクションの会場に来場した顧客が関わる会場画像を撮影する撮影装置と、撮影した該会場画像を携帯可能な記録媒体に記録する情報書き込み装置とを少なくとも備えている

ことを特徴とするアトラクションシステム。

【請求項10】

アトラクションを実施するアトラクションシステムであって、携帯可能な記録媒体に記録された、該アトラクションを利用中の顧客を特定する顧客ID (identifier) を読み取る情報讀取装置と、該顧客が関わる会場画像を撮影する撮影装置と、撮影した該会場画像を顧客IDを含めて配信局に送信する送信装置とを少なくとも備えていることを特徴とするアトラクションシステム。

【請求項11】

請求項5に記載のアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法において用いる、アトラクションを実施するアトラクションシステムであって、携帯可能な記録媒体に顧客のアトラクション利用履歴を記録する情報書き込み装置を少なくとも備えていることを特徴とするアトラクションシステム。

【請求項12】

請求項2に記載のアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法において用いる記録媒体であって、撮影された、アトラクションを利用中の顧客が関わる会場画像が記録されていることを特徴とする携帯可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、テーマパーク等のアトラクションにおけるサービスをコンテンツ（映像又は音響）の視聴と関連付けるアトラクションとコンテンツ視聴との連携サービスの方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

最近、わが国においても、各種のテーマパークが出現し、行列を作つて待つほどの人気のあるアトラクション（例えば、宇宙冒険体験や大規模のジェットコースターなど）が幾つか用意されている。そのようなアトラクションでは、乗り物（以下では「ライド」という）に乗つて楽しむものが多い。その際の特典サービスとして、例えば、ライドに乗つてアトラクションを楽しんでいる観客の写真を

アトラクション利用後にテーマパーク内で販売するサービスがあった。

【0003】

一方、テレビ放送やインターネット等の伝送路を通って配信するコンテンツ（映像または音響）、或いはDVDディスク（Digital Versatile Disc）等の媒体によって供給されるコンテンツには、上記のアトラクションに関連したコンテンツが人気番組となる例が見られ、逆に配信されたコンテンツ（例えば、恐竜を材料にしたアニメーション映画）が人気を得てアトラクションの材料になる例があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

上記の写真提供サービスには、利用したアトラクションに関わるコンテンツを別途視聴するように顧客に対して誘引する効果はなかった。

【0005】

本発明の目的は、アトラクションへの来場者に対してコンテンツを視聴させる誘引効果を持つ、アトラクションとコンテンツ視聴の連携サービスの方法並びにそのサービスに用いる受信機及びアトラクションシステムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明のアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービスの方法は、アトラクション会場に来場した顧客が関わる会場画像を撮影し、撮影した該会場画像を受信機において取り込み、該受信機を使って視聴する上記アトラクションに関するコンテンツ中に該会場画像を挿入することを特徴とする。

【0007】

受信機において該コンテンツのストーリー中に顧客が関わる会場画像が挿入されることにより、該ストーリーに顧客が参加する映像を創り出すことできる。そのような顧客参加の映像の提供を、アトラクション会場に来た顧客への特典とすることにより、コンテンツ視聴を誘引する効果を得ることができる。

【0008】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係るアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービスの方法並びにそのサービスに用いる受信機及びアトラクションシステムを幾つかの図面に示した発明の実施の形態を参考して更に詳細に説明する。

【0009】

まず、本実施形態を実施するための全体構成の例を図1を用いて説明する。全体構成は、顧客を特定するための顧客ID(identifier)が記録されているICカード又はメモリカード等の携帯可能な記録媒体(以下「リムーバブルメディア」という)102と、アトラクションを実施するアトラクションシステムであって、該顧客に関する会場画像を撮影してリムーバブルメディア102に記録するアトラクションシステム101と、上記アトラクションに関するコンテンツを配信する配信局104と、配信局104から配信される該コンテンツを受信すると共に、メディア102に書き込まれた会場画像を読み取り、受信した該コンテンツの中に該会場画像を挿入するコンテンツ受信機103とから構成される。受信機103は、リムーバブルメディア102から個人情報を読み取ることによって顧客を特定する。また、上記の顧客が関わる会場画像は、会場での顧客の像を入れた静止画像や動画像が主となる。

【0010】

なお、図1では、コンテンツは、配信局104から電波による伝送路を通って放送されるが、コンテンツは、インターネット等のブロードバンドネットワークによる伝送路を介して配信されてもよく、更には、DVDディスク等の媒体によって供給されてもよい。

【0011】

また、サービスによっては、アトラクションシステム101と配信局104がネットワーク105によって接続され、撮影した会場画像がネットワーク105を介して配信局104に送信されるように構成することも可能である。この場合は、会場画像は、リムーバブルメディア102によってではなく、配信局104から受信機103に配信される。

【0012】

更に、視聴者の顧客管理やコンテンツ視聴に関する課金処理を行なう課金主体は、配信局104にあるようにしたが、配信局104とは別の部署でこれらを行なうことも可能である。

【0013】

本実施形態におけるアトラクションシステム101の第1の例を図2を用いて説明する。アトラクションシステム101は、会場画像を撮影する画像撮影装置202、撮影した会場画像及び撮像データをリムーバブルメディア102に記録する情報書き込み装置201、及び顧客が乗るライド203から構成される。なお、撮影装置202は、一般に1つ以上のビデオカメラを備えている。アトラクションシステム101は、アトラクションを実施するアトラクション装置を有するが、図示を省略した。

【0014】

続いて、本実施形態におけるサービス方法の第1の例を図1～3を用いて説明する。本方法では、まず、顧客を特定するためのID情報が予め記録されているリムーバブルメディア102が情報書き込み装置201に挿入される（ステップ301）。次に、ライド203が起動されてアトラクションが開始され（ステップ302）、顧客を含む会場画像が撮影装置202によって撮影される（ステップ303）。次に、情報書き込み装置201において、会場画像を含む撮像データがリムーバブルメディア102に記録される（ステップ304）。この場合、リムーバブルメディア102として、該撮像データを記録するために十分な容量を持つメモリカードが採用される。

【0015】

次に、受信機103が、配信局104から配信されたアトラクションに関する視聴用のコンテンツを受信する（ステップ305）。次いで、受信機103は、リムーバブルメディア102に記録されている撮像データを読み取り、上記コンテンツ中に該撮像データを挿入し（ステップ306）、その合成映像を再生する。これにより、視聴者自身が参加するコンテンツを視聴することができる。

【0016】

本実施形態におけるアトラクションシステム101の第2の例を図4を用いて説明する。アトラクションシステム101は、リムーバブルメディア102に記録されている顧客を特定するID情報等を読み取る情報読取装置404、会場画像を撮影する画像撮影装置402、撮影した会場画像をネットワーク105に送信する送信装置405、顧客が乗るライド403から構成される。なお、ライド403に情報読取装置404を装備することも可能である。その他の構成は、上記の第1の例と同様である。

【0017】

続いて、本実施形態におけるサービス方法の第2の例を図1、4～5を用いて説明する。本方法では、まず、情報読取装置404において、リムーバブルメディア102に記録された顧客を特定するためのID情報が読み取られ（ステップ501）、次いで、ライド403が起動され（ステップ502）、顧客が関わる会場画像が撮影装置402によって撮影され（ステップ503）、該会場画像を含む撮影データが送信装置405からネットワーク105を通って配信局104に配信される（ステップ504）。

【0018】

次に、受信機103が、配信局104から配信された視聴用のアトラクションに関するコンテンツ及びステップ504において配信された撮影データを受信する（ステップ505）。その際、受信機103は、リムーバブルメディア102からID情報を読み取ることによって顧客を特定し、該顧客が関係する撮像データを選択する。続いて、受信した上記コンテンツ中に該撮影データを挿入し（ステップ506）、その合成映像を再生する。これにより、視聴者自身が参加するコンテンツを視聴することができる。なお、コンテンツ視聴及び撮影データの利用に対して課金処理が行なわれるが、図5において該処理の図示を省略した。

【0019】

上記のサービス方法の第2の例においてコンテンツ配信を省略し、顧客が会場画像を自宅で簡易に閲覧、購入する、該サービス方法が有する便宜のみを提供するようにしてもよい。その方法を図6に示す。ステップ601～604は、それぞれ図5に示した上記第2の例におけるステップ501～504と同様である。

ステップ604で配信局104から配信された会場画像を含む撮影データを受信機103が受信し（ステップ605）、顧客が該データを選択・購入する（ステップ606）。

【0020】

さて、通常、アトラクションにおいて提供する写真は印画紙に印刷されるものであり、顧客の一人一人に多くの種類の写真を提供しようとすると、膨大な閲覧スペースを用意することが必要になり、そのようなサービスの提供は実現困難である。また、写真ではなく、テレビカメラで観客を撮影し、その動画像をビデオテープに録画して提供しようとする場合、ビデオテープが持ち帰りに不便でコストを要する点に問題がある。図6に示した方法は、そのような不便を解消するもので、顧客は、アトラクション会場における多くの種類の画像或いは動画像を、自宅で閲覧し、購入することができる。

【0021】

なお、以上の図3、5、6に示した各サービス方法において、リムーバブルメディア102は、配信に関する初期契約時に顧客に配布されるが、アトラクション利用前に顧客に配布されるようにしてもよく、又は予め受信機103に付属するようにしてもよい。また、図5、図6に示したサービス方法において読み取られる顧客を特定するための顧客IDは、リムーバブルメディア102の配布前に予め記録されるが、アトラクションシステム101が該ID情報を生成し、リムーバブルメディア102に書き込むようにしてもよい。

【0022】

次に、ステップ306を実行するのに先立ってリムーバブルメディア102から読み取られる撮影データの例を、図7を用いて説明する。リムーバブルメディア102に記録されている該撮影データは、まず、顧客を特定するためのID情報（顧客ID）700と会場画像数701と、撮影場所又は撮影装置毎に定まったデータID702、704、706と、撮影された数の会場画像703、705、707の組とからなる。図7の場合、顧客IDが1234で、撮影された会場画像数が6であり、会場画像1、2、…、6のそれぞれにデータIDとして001、002、…、006が付与されている。

【0023】

ステップ504、604において配信局104から配信される撮影データも図7に示したのと同様に構成される。なお、図6に示したサービス方法の場合には、データIDは必ずしも必要ない。

【0024】

次に、受信機103の構成例を、図8と図3、5、6を用いて説明する。受信機103は、配信局104から電波によって配信された撮影データ（図7）やコンテンツを受信するための受信回路（チューナ）801、ステップ505、605の撮影データ受信処理やステップ606の撮影データ選択・購入処理、及びステップ306、506のコンテンツへのデータ挿入処理等を行なうためのプロセッサ802、リムーバブルメディア102からデータを読み取るための情報読取装置（カードリーダ）803、上記撮影データや上記コンテンツ、及びプロセッサ802が行なう処理のプログラム等を蓄積するための蓄積装置804、ステップ605の撮影データ選択・購入処理においてユーザ入力を行なうためのリモコン、又はキーボードとマウス等のユーザ入力装置805、及び上記コンテンツや上記撮影データを表示したり、ステップ605の撮影データ選択・購入処理における対話処理のユーザインターフェイス出力を表示したりするためのテレビモニタ等の映像出力装置806から構成される。なお、配信局104からのデータ配信がブロードバンド回線を通して行なわれる場合、チューナ801は該ブロードバンド回線のネットワーク・インターフェースである。更に、コンテンツがDVDディスクから供給される場合は、チューナ801はDVDプレーヤになる。

【0025】

図3に示したサービス方法を実施する場合、受信機103は、ステップ306を実行するのに先立ってリムーバブルメディア102から撮影データ（図7）を読み取り、読み取った撮影データを蓄積装置804に蓄積する。このとき、必要に応じて、受信機103の利用者の顧客IDと撮影データに含まれる顧客ID700の照合を行なう。

【0026】

続いて、図5、6に示したサービス方法を実施する場合におけるステップ50

5, 605の撮影データ受信処理を、図9と図1, 7, 8を用いて説明する。まず、配信局104から配信された撮影データ（図7）がチューナ801によって受信される（ステップ901）。次に、顧客IDのみが記録されている別のリムーバブルメディア102からカードリーダ803が読み取った顧客ID即ち受信機103の有する顧客IDと受信された顧客ID700が比較され（ステップ902）、一致しなければ、ステップ901の配信データ受信処理に戻る。一致した場合には、撮影データ703, 705, 707を蓄積装置804に蓄積する（ステップ903）。このようにして、顧客IDの一致した撮影データが受像機103に取り込まれる。

【0027】

次に、ステップ606の撮影データ選択・購入処理を、図10と図7, 8を用いて説明する。まず、蓄積装置804に蓄積された撮影データ703, 705, 707を映像出力装置806に提示する（ステップ1001）。次いで、ユーザは、ユーザ入力装置805を用いて、提示された撮影データから、購入するデータを選択する（ステップ1002）。続いて、選択されたデータに対応した課金処理が行なわれ（ステップ1003）、選択されなかった撮影データが削除される（ステップ1004）。なお、ステップ1002の購入データ選択処理において、ユーザが撮影データを1つも選択しなかった場合には、ステップ1003の課金処理は行われず、全ての撮影データが削除される。

【0028】

ここで、配信局104から配信される映像等のコンテンツ並びに関連データの例を、図11を用いて説明する。本実施形態におけるコンテンツ関連情報は、視聴用のコンテンツ1100とは別のストリーム1110として、該コンテンツと多重化して配信される。関連データは、挿入される撮影データのデータID1101, 1103, 1105と該データが挿入される該コンテンツ内の位置情報1102, 1104, 1106から構成される。例えば、図11の場合、ID=001の撮影データがコンテンツの前半に、ID=002の撮影データが後半に、ID=003のデータがコンテンツ終了直後に挿入されることを表す。ここで位置情報は、コンテンツ内の相対時刻若しくはフレーム数で表現される。また、関

連情報はコンテンツと同時に送られるが、コンテンツとは別に送ることも可能である。但し、コンテンツの一部がリアルタイムで再生される場合は、該部分内に位置情報を持つ関連データは、コンテンツの該当部分より前に配信される。また、リアルタイム再生でない場合でも、関連データは、該関連データが指す位置情報1102, 1104, 1106に対応する該コンテンツの部分が再生される前に配信される。

【0029】

次に、ステップ306, 506のコンテンツに対する撮影データ挿入処理を、図12及び図13と図7, 8, 11を用いて説明する。以下の処理はプロセッサ802により、蓄積装置804に蓄積されたプログラムに従って実行される。まず、配信され、チューナ801より入力されたコンテンツ1100は、関連データ1101～1106と共に蓄積装置804に記録される（ステップ1301）。このとき、関連データは1201～1203の形で蓄積される。

【0030】

次いで、ユーザによりユーザ入力装置805を用いて再生が指示されると、変数pに最初の位置情報1221が、変数Dに最初のデータID1211と等しいデータID702に対応する映像データ703を代入する（ステップ1302）。続いて、該コンテンツの再生が開始され（ステップ1303）、該コンテンツの再生位置がpよりも前である場合には再生を続ける（ステップ1304）。該コンテンツの再生位置がpになった場合、撮影データDを再生する（ステップ1305）。次に、pに次の位置情報1222、Dに次のデータID1212と等しいデータID704に対応する映像データ705を代入し（ステップ1306）、ステップ1303の該コンテンツの再生を再開する。以上を該コンテンツの再生が終了するまで続ける。

【0031】

以上の処理により、アトラクションに出向いた顧客に、該アトラクションに関するコンテンツのストーリーの中に該顧客に関わる会場画像を挿入するというサービスを提供することが可能になる。

【0032】

なお、アトラクション101がライド203と情報書込装置201のみから構成される場合、ステップ302のアトラクション起動の後、ステップ304の撮影データを記録する処理を行なう代わりに、リムーバブルメディア102に情報書込装置201を用いてアトラクション利用回数等の利用履歴を記録するとしてもよい。受信機103でコンテンツを視聴する際に、カードリーダ803からリムーバブルメディア102に記録されている該アトラクション利用履歴を読み取り、該利用履歴が存在する場合に、例えば、通常とは異なった特典コンテンツを視聴することができるようしたり、利用回数によってコンテンツ視聴料を割り引いたりし、顧客に特典サービスを提供する。

【0033】

【発明の効果】

本発明によれば、アトラクションを利用した顧客に、自分が参加しているコンテンツを視聴して楽しむサービスを提供することが可能になる。それにより、コンテンツ提供者は、アトラクション利用の顧客に対して積極的にコンテンツを視聴するように誘引することができる。また、顧客が自宅でアトラクション利用中の多くの種類の画像或いは動画像を閲覧・購入することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係るアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法の発明の実施の形態を説明するための基本的構成図。

【図2】

本発明のアトラクションシステムの発明の実施の形態の例を説明するための構成図。

【図3】

本発明のアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法の発明の実施の形態の例を説明するためのフローチャート。

【図4】

本発明のアトラクションシステムの発明の実施の形態の別の例を説明するための構成図。

【図5】

本発明のアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法の発明の実施の形態の別の例を説明するためのフローチャート。

【図6】

本発明のアトラクションとコンテンツ視聴の連携サービス方法の発明の実施の形態の更に別の例を説明するためのフローチャート。

【図7】

配信される撮影データ関連情報の例を説明するための図。

【図8】

本発明の受信機の発明の実施の形態を説明するための構成図。

【図9】

撮影データ受信処理の例を説明するためのフローチャート。

【図10】

撮影データ選択・購入処理の例を説明するためのフローチャート。

【図11】

配信されるコンテンツ並びに関連データの例を説明するための図。

【図12】

蓄積されたコンテンツ関連データの例を説明するための図。

【図13】

コンテンツへの撮影データ挿入処理の例を説明するためのフローチャート。

【符号の説明】

101…アトラクションシステム、102…リムーバブルメディア、103…受信機、104…配信局、105…ネットワーク、201…情報書き込み装置、に202、402…画像撮影装置、203、403…ライド、404…情報読み取り装置、701…顧客ID、702、704、706、1101、1103、1105、1211、1212、1213…データID、703、705、707…撮影データ、801…チューナ、802…プロセッサ、803…カードリーダ、804…蓄積装置、805…ユーザ入力装置、806…映像出力装置、1100…コンテンツ、1102、1104、1106、1221、1222、1223…コン

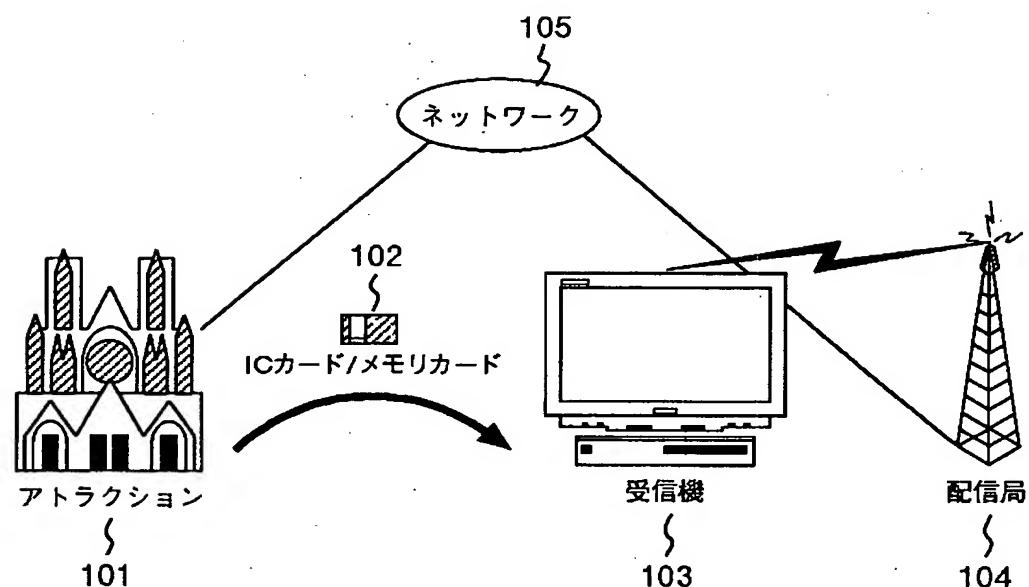
特2001-175020

テンツ内位置情報、1201, 1202, 1203…コンテンツ関連データ。

【書類名】 図面

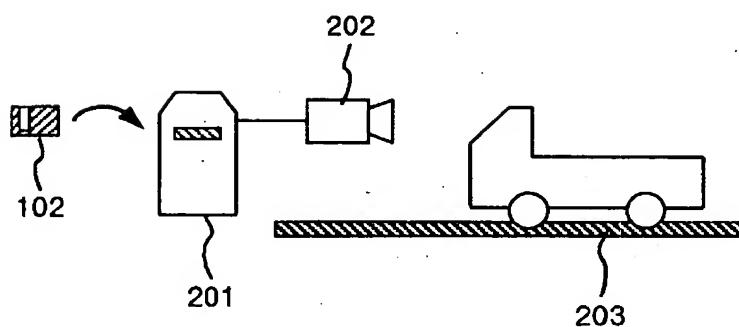
【図1】

図 1



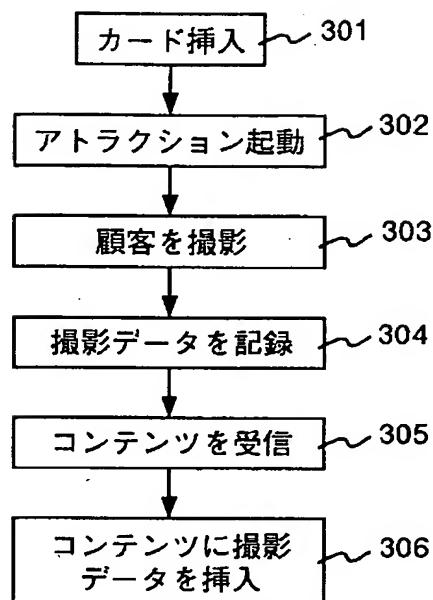
【図2】

図 2



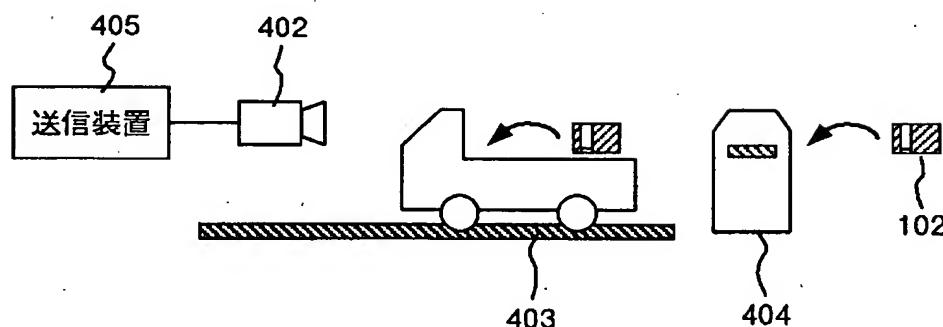
【図3】

図 3



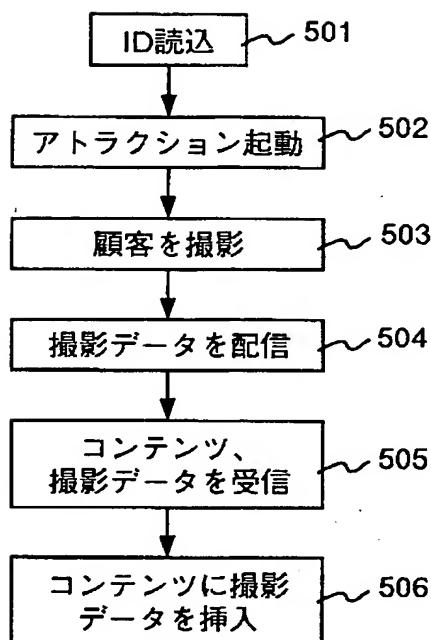
【図4】

図 4



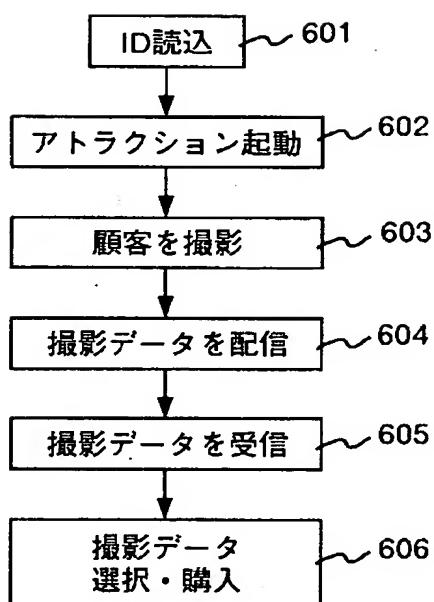
【図5】

図 5



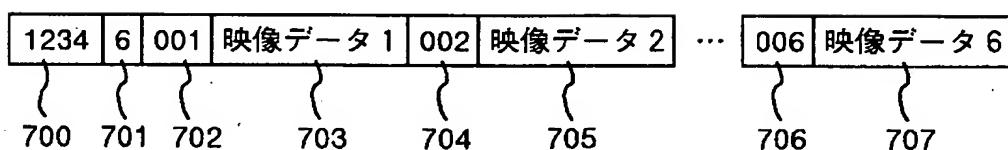
【図6】

図 6



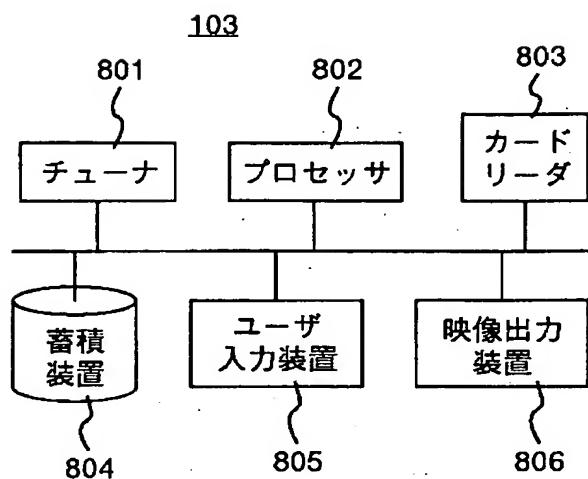
【図7】

図 7



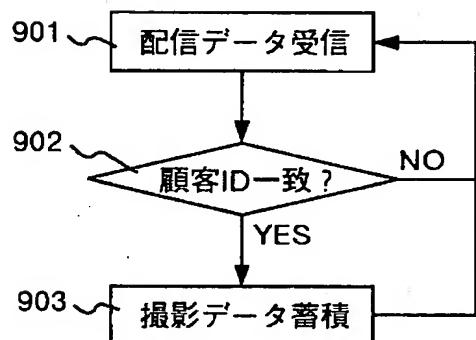
【図8】

図 8



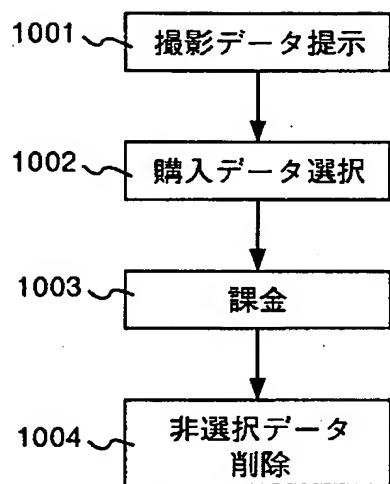
【図9】

図 9



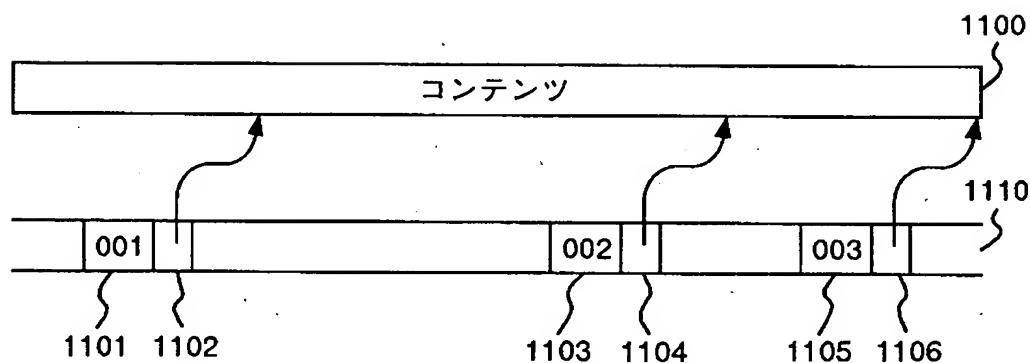
【図10】

図 10



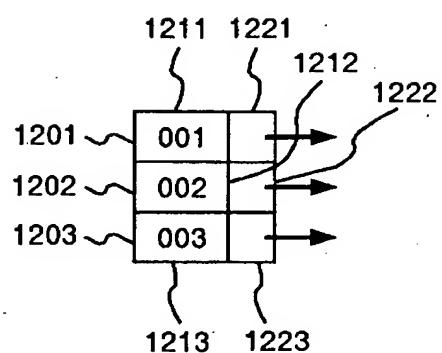
【図11】

図 11



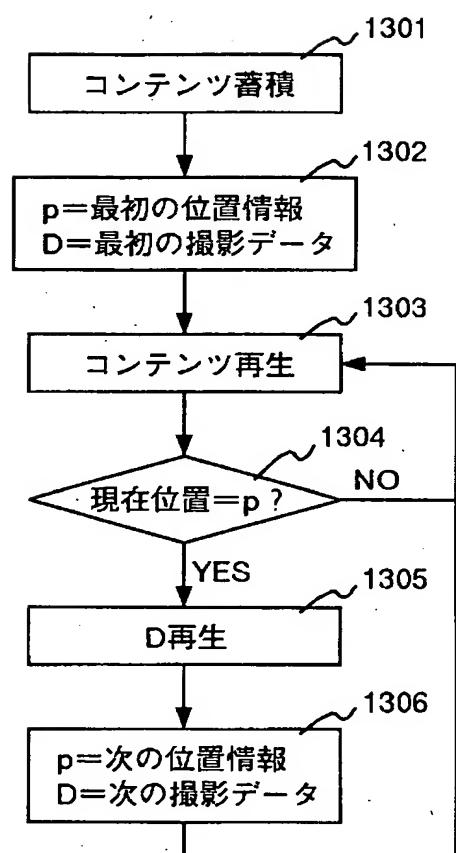
【図12】

図 12



【図13】

図 13



【書類名】要約書

【要約】

【課題】アトラクションへの来場者に対してコンテンツを視聴させる誘引効果を持つ、アトラクションとコンテンツ視聴の連携サービスの方法並びにそのサービスに用いる受信機及びアトラクションシステムを提供すること。

【解決手段】アトラクション会場に来場した顧客の像が入った会場画像をアトラクションシステムの撮影装置が撮影し、該会場画像を携帯可能な記録媒体に記録する。受信機は、配信局から配信された上記アトラクションに関するコンテンツを受信すると共に、記録媒体に記録されている会場画像を読み取って該コンテンツ中に挿入する。

【選択図】図3

出願人履歴情報

識別番号 [000005108]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
氏 名 株式会社日立製作所